

## 平成30年度対ボツワナ草の根・人間の安全保障無償資金協力

### 「クウェネン地区モツワセレ中等学校保健室棟建設計画」引渡式の実施

在ボツワナ日本国大使館

令和3年9月23日

令和3年9月23日、平成30年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「クウェネン地区モツワセレ中等学校保健室棟建設計画」の引渡式が、星山隆駐ボツワナ日本国大使、マクウィンジャ基礎教育省副大臣、被供与団体「モツワセレ中等学校」関係者等出席の下、モレポロレにて行われました。

本計画により、クウェネン地区に位置するモツワセレ中等学校の敷地内に保健室棟が建設され、約740名の生徒及び70名の職員が、適切な環境でカウンセリング及び医療応急処置を受けられるようになりました。

引渡式において、星山隆大使は、「本プロジェクトは、草の根・人間の安全保障無償資金協力がボツワナで開始されてから55番目に承認を受けたプロジェクトにあたります。同時に本年は、日本とボツワナの国交樹立55周年という特別な年でもあります。この保健室棟が、生徒たちが直面する社会的・健康的な問題を軽減するだけでなく、学校生活の環境改善による学業向上にも貢献すると祈念しています。最後に、本プロジェクトに対して、人一倍熱心でありながら、残念なことに先日亡くなられた、モトホ前校長に追悼の意を表します。」と述べました。



(写真) テープカットをする星山大使



(写真) 保健室棟の前に立つ星山大使とマクウィンジャ副基礎教育大臣